一日が五錢

天野　晋雄

俺は東京市外で東京に賣り出す、蔬菜栽培を主とする小作人だ。俺等が如何に慘めな生活をやつてゐるかは恐らく都會の人達には想像以上なのだ。年から年中、一日の休みもなく、めつたにや一片の魚の骨にもありつけずに働き續けるのだ。こんな状態が數年續いたら俺達一家は骨と皮ばかりになつて、くたばつて了ふであらう。茲に一年中の收支計算を數字的に列記して見る收入は大小麥四百三十五圓大根、茄子其の他で千七百六十五圓、梨菜八十八圓其他で合計が二千三百[illegible]圓なのだ。支出の部は稅金が九十六圓、小作料百九十五圓、肥料代八百七十圓、農具買入修繕費百六十二圓、生活費（一家七人）九百七十六圓臨時費其他合計二千三百九圓で差引きをすると二十七圓殘るが、其の中から[illegible]費用を見積ると驚くなかれ一日一人五錢の勘定だ。これでどうして食べて行ける

俺達は俺達の力でこの苦境を脫れるより外に道はない。[illegible]逃げ廻つたからとて苦をまぬがれる事は出來ないのだ。

威張り得

平見　大江

おい青年會の若い衆、お前等が農閑期に每夜每日軍人の古手から軍事教育を吹き込まれて、喇叭を吹いたり、鐵砲打ちを眞似たりしてるが、しつかり忘れぬやうに覺えろよ

お前等がそうした習練を積むでゐる事は、決して無駄にやならないんだ、それが始終お前達の胸に燃えてゐる貧困と壓制との殼から脫出す下[illegible]

[illegible]を[illegible]えて、腹をこしらへてイザ鎌倉の用意をして置け。

おい[illegible]の[illegible]

[illegible]威張る丈得だ、それにしちやあ威張る基礎を造ろうよ、何よりも先決だ。團結をしろ。

全國的總聯合の具體化

俺達の運動が段々擴がり、益々熾烈になるに從つて、地主の奴等は周章てる、役人共はウロタヘる。その斷末魔の苦しみから、狂ひに狂つて、やれ[illegible]だ、それ法案だと種[illegible]の壓迫を加へやうとしてゐる、小作人は一層團結を鞏固にしなければならない事を教へられた。そうして先づ部落に小作組合を作り、次いで近村との連絡を取ることをした

しかし問題は一部落一地方の問題でない、全國的の問題として解決をしなければならぬ事を、はつきりと氣付いた、そこで小作人組合は全國的に聯合をする、ことは何うあつても必要である。

だが、こう成つて來ると、いつもながら利に敏い、野心家的指導者や、政黨屋共が、小作人を、ゴマカシテ利権仕様とする。故に俺等は是非小作人の利益幸福は小作人自身の力でのみ獲得出來るのだと云ふ信念を固めて、土地の獲得から、完全な自治の獲得まで運動を進めねばならないと主張して來た。だが、そうやく實現されるときが近づいた、そうした[illegible]とに、十年、[illegible]には小作人組合[illegible]團結らうとする[illegible]が出來て來た。

そこで農村運動同盟にも[illegible]つて變化は必然的に[illegible]つて來た。今迄では、農村小作人に向つて、外部からの促進運動であつたが、漸く小作人自身が、眞に自主的に活動を始め、小作人組合の全國的總聯合を組織し小作人が自主的解放運動に努力することになつたのだ。故に吾等農村運動同盟は、進んで[illegible]役となり宣傳部として充分働くつもりだ。

だが總聯合設立までは多少の時日を要すると思ふ。それ迄の聯合の事務は暫らく我農村運動同盟が進んで取ることにした。

いまだ此の同盟に加盟するホゾの固まらない諸君に、對して速かに加盟の申込みを、されん事にお勸めします。